

- 【題材名】 4学年社会科「ごみのしよりと利用」
- 【内容】 ロイロノートを使用してごみの分別について考える。
- 【使用アプリ】 ロイロノート、グーグルスライド
- 【事例紹介】 ごみの処理に関する諸課題を知り、ごみを減らすための方法の一つとしてリサイクルについて考える。四国中央市のホームページに掲載されている「ごみの出し方・分け方」に基づいて、教師が提示したごみの分別をロイロノート上で行う。併せて、本市や徳島県上勝町のリサイクル率を紹介し、リサイクルがごみを減らすことに大きく貢献していることを確認する。

### 【大型提示装置と児童の端末の画面に投影して説明】



学習課題の把握  
ごみの出し方・分け方  
まとめと次時の課題など  
学習活動ごとに資料をま  
とめ、児童に配信した。

〈解説①〉 1人1台端末のChromebookは、児童の学習意欲を大いに掻き立てるたいへん魅力的なツールである。そのため、活用の際には、児童が端末の操作に夢中になってしまい、教師や友達の話に集中できないということがないように留意する必要がある。ロイロノートにある「画面ロック」や教師の画面を配信する「画面配信」、特定の児童の画面を配信する「生徒発表」などの機能を活用することで、児童が端末を操作できない状況を意図的、計画的に作り出し、学習活動にメリハリを持たせることができた。

### 【シンキングツールとファイルカードを組み合わせた学習活動（ごみの分別）】



絵カードを直接指で触って  
動かす直感的で分かりやす  
い学習活動が可能に！  
資料と分別のカードの切り  
替えもワンタッチ！

〈解説②〉 カードの中にカードを取り込む機能を活用して、シンキングツールのXチャートに、様々なごみの画像のファイルカードを取り込んだ。4つの「ごみの出し方・分け方」の資料を読み取りながら、シンプルで直感的なアウトプットが可能な学習活動にすることができた。

## 【GoogleスライドにYouTubeの動画を挿入】

〈解説③〉 YouTube内の動画も、授業の理解を深めるのに効果的である。その際に、YouTubeのサイトから動画を視聴すると、広告や他のおすすめの動画などが表示されてしまい、児童の集中が逸れることがある。そこで、GoogleスライドにYouTubeの動画を挿入することで、児童に提示したい動画のみを表示し、再生することができる。



## 【学習の感想もロイロノートで提出】

今日の学習の感想 西国中央市は、ゴミを分別して出していることがわかりました。家でもお母さんに「プラスチックは袋に入れて」と言われていたのでそういう意味なんだと知りました。	今日の学習の感想 ゴミを分別するのが難しかったです。この勉強でごみの分別に興味を持ちました。またしたいです。	今日の学習の感想 3Rでこんなにゴミを減らせることや、今日の動画を見て私達もゴミを減らしていきたいと思いました。	今日の学習の感想 一度学んだことを活かして学習できました。これからもごみの分別に力を入れたいです。また、3Rもしたいです。
今日の学習の感想 このような、リサイクルの分別をすることを知りました。僕は、今後ゴミになることをしました。上野町のリサイクル率は、80%セントもあることがすごいと思いました。	今日の学習の感想 ゴミを分別することで、処理をスムーズにできることがわかりました。私もゴミを減らす取り組みをしたいです。	今日の学習の感想 燃やすゴミ、燃やさないゴミ、有害ごみ、資源ごみ。わたしは、この学習で、いろいろなことがわかりました。わたしたちにできることをさがしてやりたいです。	今日の学習の感想 3Rのことを復習できて、またもっとがんばってごみを減らしていきたい。

提出箱に提出したカードは、教師が「回答共有」を掛けることで、他の児童のカードを見ることができるようになる。

「比較」を活用することで、複数の児童のカードを大きく表示することもできる。

〈解説④〉 授業の終末部で、学習の感想をロイロノートの付箋カードに記入した。付箋カードは手書き入力とキーボード入力ができる。文字入力には児童によってスピードに差があるが、提出箱に「回答共有」を掛けることで、他の児童のカードを見ることができるようになり、早くできた児童は他の意見を読み、考えを広げたり深めたりすることができる。児童が発表する際には、提出箱のカードを大きく表示することができる。また、「比較」を活用して、複数の児童のカードを並べて大きく表示することで、多くの児童が効率良く発表することができた。「比較」では、表示する児童のカードを任意で並べ替えることもできるので、異なる意見をまとめて配置し、比べやすいように表示することもできる。

【終わりに】 本授業でロイロノートの様々な機能を活用することで、以下の4つの効果を得ることができた。

- ① メリハリのある学習活動のデザイン
- ② シンプルで直感的なアウトプットが行える学習活動
- ③ 効果的な資料の提示（画像・動画）
- ④ 活発な意見の共有

特に、シンキングツールの活用は、児童の操作の負担を大きく軽減しながら思いや考えを表現するのにたいへん効果的であった。

（7分間で全20種類のごみの分別を全員が最後まで終えることができた。）

児童の実態に応じて、積極的に活用していきたい。

（教育委員会主幹講評）ロイロノートの特徴を生かした効果的な活用事例を紹介していただきました。「画面ロック」や「回答共有」の機能を効果的に活用することで、児童の思考が更に深まります。学習状況に応じて1人1台端末を積極的に活用し、児童生徒と教職員のスキルアップを図っていきましょう。